第2回オープンキャンパスに 4.199人が参加

専攻)相談コーナー、キャンパスツアー

けたり、初めて接する特殊な施設や機材 参加者は教員やスタッフの言葉に耳を傾 ペシャル企画や体験コーナー等を実施し、 のほか、各学科(専攻・コース)独自のス

岡まで、全国各地から多くの参加者を迎 え、本学への関心の高さが伺えました。 はもちろん、北は北海道から南は九州・福 26日、長久手・星が丘両キャンパスで開催 (付き添い者は除く)が来場。東海4県 しました。来年4月に学部再編すること もあり、2日間で過去最高の4199名 当日は、全体説明会や模擬授業、学科

の身近なものを使った実験授業等、各学科 ざまな検査方法を学習する授業、理科室で の盛況ぶりでした。視力検査の原理やさま 気が集まりました。 (専攻・コース)独自の多彩な講義に特に人 が、人気のある授業は立ち見が出るほど に目を輝かせたりしていました。 毎年好評を博している模擬授業です

る体験コーナーを設けました。来年4月に 様々な医療機器を使って、人体の構造を知 ツ・健康医科学科は、超音波診断装置など るイベントを実施。健康医療科学部スポー ム」や「ヘッドマウントディスプレイ」、「ドラ 間情報学部が「モーションキャプチャシステ 新しく誕生する学部・学科(専攻)は特に力 の入ったイベントを実施し、会場を盛り上げ イビングシュミレータ」等を実際に体験でき スペシャル企画や体験コーナーでは、人



キャンパスツアー(星が丘キャンパス)

第2回オープンキャンパスを7月25

解説しました。こちらにも多くの高校生が るコツや解答の導き方などを分かりやすく 集やレジュメを使い、問題文を素早く理解す の基礎学力試験 (国語・英語) 対策講座を両 集まり、必死にメモを取る姿が印象的でし キャンパスで開催。本学の教員が模擬問題 また、公募制推薦入試(基礎学力重視型)

奨学金についての学生生活相談、卒業後の 就職先や進路についての就職相談、留学相 する参加者の姿が見受けられました。 談等の各種相談コーナーでも、熱心に質問 学科 (専攻) 相談、入試相談、大学生活や





の林間研修を、1日目は高山市一宮町の民 宿、2日目は淑友館に宿泊して実施しまし 5月のゴールデンウィーク明け、2年生

2グールプに分かれ、都会での便利な日常

生活を離れて農村に分宿し、自然の中でた

くさんの体験をしてきました。

てくれました。

「式典の前に皇太子様とお話しする機会が

学部4年の船橋明里さんがレポートを綴っ その式典と祝賀懇談会に参加した文化創造 た。A班は5月1~13日、B班は12~14日の

の家。天皇皇后両陛下のご成婚を記念して 動の企画・運営を行う国立中央青少年交流

青少年が自主的に交流事業や様々な活

お迎えした式典が9月14日に行われました

開所してから50周年目の今年、皇太子様を

食体験、夕食後には懐中電灯持参のナイト 空気の下、雲ひとつない良い天気で、美しい 式のあと、さっそく位山へミニ登山。澄んだ 五平餅作り、そば打ちや岩魚つかみなどの アルプスの山並みがはっきりと眺望できま ハイクを行いました。 した。その後、それぞれの民宿に分かれて、 1日目は道の駅「モンデウス」前での入村

> プを通じて学んだこと、感じたことについ 士山国際エコキャンプ村」でのワークキャン あり、2年次に私が参加したプログラム「宮

てお話しました。

学科(専攻)相談(星が丘キャンパス)

得られない貴重な体験ができたようです。 ました。収穫した米は秋に学校に送ってい 徒たちも、次第に夢中になって、用意された 田んぼにしっかりと苗の植え付けをしてき 田の中に不安気な面持ちで入って行った生 たった1泊の体験でしたが、普段の生活では ただき、家庭科の調理実習に使う予定です。 2日目の午前中は田植え体験。初めは泥 2日目午後から淑友館に移動して、夜は



国立中央青少年交流の<mark>家</mark> 記念式典に





-国立中央青少年交流の家を見学される 皇太子様





船橋明里さん



文学部英文学科の模擬授業 (長久手キャンパス)



健康医科学科の スペシャル企画(体験コーナー) (長久手キャンパス)

たあと、帰路につきました。

ーケーションを深め、3日目に高山見学をし ファイヤーなどでクラスの友人たちとコミュ



されました」とお答えすると、「大変貴重な え、世界を広く見ることの大切さに気付か る自信、きっかけになったと思います。外国 間でしたが、外国人青年を含む6人のメン ると共に、今後もエコキャンプで得た学びや 議論を交わした経験は、次のステップに繋が はいかかでしたか」と聞かれ、「たった1週 気付きを大切にしていきたいと思います。_ るという貴重な体験ができたことに感謝す き嬉しく思いました。皇太子様とお話しす 経験をされましたね」とのお言葉をいただ 人青年との交流から、国を越えて問題を考 .ーと共に活動し、環境などの問題について 皇太子様から、「外国人青年の方との交流







「20 クライン ダイサム アーキテクツの建築」 愛知巡回展と講演会

の展示に囚われたものではなく、日 テクツの建築 愛知巡回展」を開催 展覧会としては一般的な図面や模型 演習Ⅲという授業の受講生41人が独 自の会場計画を手掛けました。 れたものの再構成で、本コースの計画 する「ギャラリー・間」で先行開催さ しました。本展は、東京・乃木坂にあ ンで「20 クライン ダイサム アーキ る建築やデザインの展覧会を専門と KDaの制作した展示作品は、建築

会しました。 が、形をかえ洗練さを極めて一堂に して表現されました。彼らの建築/ として手頃な「クリスタルガラス」と 本の街に溢れる「商業看板」とお土産 インテリアなど多数のプロジェクト

度は展覧会誘致1年目です。また、ぜひ足を らの責任ある仕事に、空間づくりの楽しさ 作品監理を行い、リアルな展覧会として多 ち取った一案を全員で施工し、広報宣伝し、 むKDa。そんな彼らに応えるため、学生た と厳しさを実感したことと思います。来年 くのお客様をお迎えしました。実務さなが ちはコンペ形式で提案を戦わせました。勝 境づくりを真剣に〝楽しく〞取り組 ザイン理念を学ぶところからスター ト。ものづくりやそれを生み出す環 一方、学生の会場計画は、KDaのデ



2回目を迎え、さらに盛況に 愛知県私立中学校進学フェブ



7月25日から8月9日の16日間

キテクツ(KDa)とのコラボレーショ 家ユニット、クライン・ダイサム・アー 都市環境デザインコースでは、建築



26日の2日間、松坂屋南館で行われました。 昨年来の不況の影響が多少懸念されまし

分の目で見て肌で感じることを目的に、国

1日目は「日本の首都・東京」を実際に自

で東京と鎌倉を訪れました。

夏休みの7月29~31日、社会科見学旅行

会議事堂、警視庁、東京証券取引所を訪問。







7月に東京、鎌倉/ 社会科見学旅行







県内の私立中学校21校が参加して、7月25 校進学フェア」は今年で10回目、本校を含む 夏の恒例行事となった「愛知県私立中学

年を上回る結果となりました。各校のブー 間で延べ8921人(昨年比104%)と昨 間とも会場全体が熱気に包まれていました。 る保護者や児童がひっきりなしに訪れ、2日 スには、入試や校風について熱心に相談す 続き高いものがあり、全体の入場者は2日 たが、中学受験に対する世間の関心は引き 一昨年から個別相談会と合わせて、1階

物館、テレビ局、日本銀行、防衛省、増上寺な

2日目の都内班別研修では、東京国立博

の見学も行い、江戸文化に触れることもで ど興味のある場所を訪問。全員参加で寄席 きるまでの流れを学習しました。

グラムで議事法案の審議を行い、法律がで

したようです。議事堂見学前には、体験プロ 「テレビでよく見る場」に立ち、生徒は感激

個別相談会と合わせて私立中学校を知って 衆を前に熱のこもった演奏を披露しました。 校のギター・マンドリン部が出演、満員の聴 いただくよい機会になったのではないかと 表が行われるようになり、25日午後には本 のオルガン広場で各校クラブのステージ発

散策を行いました。

が今後の社会科の学習のみならず、それぞ

大変慌ただしい旅行でしたが、この経験

がエントリーし、3年生のチームが上位4人

大塚ゼミでは、3年生、4年生の2チーム

(伊藤綾野、折川奈津季、柴山仁美、白川麻

れの人生の中で生かされることを願ってい

雰囲気を味わい、生徒たちは満足したよう

で競りを見学後、市場で朝食。早朝の市場の

3日目は朝早く旅館を出発し、築地市場

です。その後は鎌倉へ向かい、大迫力の切通

エントリーして、各チーム上位4人の合計ス ます。ゼミ単位(4人から10人)のチームで うべく、「大学ゼミ対抗戦」が設けられてい

コアで順位を決定するものです。

しや円覚寺を見学した後、のんびりと鎌倉

の中高完全一貫体制についての期待や質問 の方の参加も多く、本校については進行中 ばかりでなく、5年生以下の児童と保護者 が多く聞かれました。 毎年のことながら、受験を控えた6年生



ビジネス学部大塚ゼミ3年生か 日経TEST「大学セミ対抗 団体2位入賞



大塚英揮准教授

る基本的な「理解力」と、現場に役立つ「考 団体2位、個人でも8位、9位に各1人ずつ ナールに所属する3年生が、日経TEST ず就職活動を控えた学生にも受験してもら る人材であることを意味します。 知識と、それを現場で活かす活用力を有す としており、高い得点を取ることは、豊富な 力試験です。ビジネスマンを主なターゲット と10月に日本経済新聞社が実施している能 える力」を測定することを目的に、毎年4月 が入る快挙を成し遂げました。 (経済知力テスト)の「大学ゼミ対抗戦」で 日経TESTでは、ビジネスマンのみなら ビジネス学部の大塚英揮准教授のゼミ 「日経TEST」は、経済、ビジネスに関す

本プレスセンタービルにおいて表彰を受け れ入る見事な成績を残し、去る6月20日、日 (3年)、9位に折川奈津季(3年)がそれぞ りました。また個人賞では8位に伊藤綾野 貴)の合計スコア2338点で団体2位とな

されました。

2500人近くの親子の方々が来校

中の中高完全一貫体制に対して大

た。中高新キャンパスの見学や、進行 のオープンスクール」を開催しまし 30日に、一学期最大の行事「中学校

今年も5月最後の土曜日である

きな関心が寄せられており、今年も

中学校オープンスクールに 2.500人が来校

知淑徳」を上映、学校長あいさつ、入試説明、 案内するビデオ「実りある6年―愛 め、今年は全体会を2回に分けて行 業を実施しました。全体会では、昨 い、同時並行で校内見学・ミニ体験授 リーナに入りきらない方も出るた ター゛さくらちゃん゛が中学校生活を 年から登場したイメージキャラク ここ数年、全体会場である大ア

が、多くの小学生が楽しそうに参加する姿 各種のクラブ活動の参観と合わせて、実際 英会話、織物、コンピュータ)を実施。また 別教室では教科ごとにミニ体験授業(百人 と保護者で賑わい、1、2年の教室および特 に実技を体験できるコーナーも設けました 首、民族衣装体験、数学パズル、理科実験、 校内見学では、校舎全体が多くの小学生

時を経た古裂の風合いをそのままに、絹糸

の輝きが、絵に独特な光と陰の立体感をも

たらします。

を用いた絵画技法です。「古裂」とは、戦前

節氏が独自に生み出し名付けた、絹の古裂

に衣裳、儀式用品等に珍重されてきた織物

展示にご協力いただいたアーティスト、前野 描く―」を開催しました。絹彩画とは、今回 市環境デザインコース・ミニギャラリーで

6月30日から7月10日、現代社会学部都

は、「前野 節 『絹彩画展』——日本の古民家を

として、しっかりと役割を果たしてくれま 習期間中の卒業生とともに会場係や案内係 今年も中3の生徒全員が登校し、教育実

も約50人の参加があり、本校に対する関心 の7月31日に実施した第2回ミニ見学会に の高さがうかがわれました。 600人が参加されました。また、夏休み中 主会場として見学会を実施したところ、約 らずオープンスクールに参加できないと 第1回ミニ見学会という形で記念講堂を いう声も聞かれたため、今年は6月20日に 校も多く、本校を志望しているにもかかわ なお、この時期に運動会を実施する小学

都市環境デザインコースが 「前野節『絹彩画展』|開催





COP10開催に向けて 「養老孟司with愛知淑徳



解な問いかけから始まるお話でしたが、先 環境破壊をどう理解するのか? という難

2010年10月に名古屋で開催され 座2009」に協賛しました。これは 知県内の7大学がリレー形式で環境 ける機会として、本学を始めとする愛 約国会議)に伴い、環境保全を呼びか るCOP10 (生物多様性条約第10回締 聞・メ〜テレ 環境7大学集中公開講 本学は昨年に引き続き、「朝日新

3分間スピーチと従来より簡潔な形式にし、

同様な内容のものを2回実施しました。

750人を超える来場者があり、星が丘キャ でも知られる養老孟司先生です。7月29日 脳科学者で「バカの壁」などのベストセラー に関する公開講座を実施するものです。 という盛夏の最中の開催にもかかわらず ノパスの講堂は満席となりました。 講演のテーマは「脳と環境」。脳は環境や 本学が公開講座の講師として迎えたのは

えながらたいへん丁寧に応えてくださいま

本格的な質問に対して、先生は変化球を交

はどのような森のことをいうのか」などの も同じような力はあるのか」「健全な森と 生に挑みました。「野生生物は環境の変化

題に関心を持つ本学の学生5人が、養老先

また、講演に続く質疑の時間では、環境問

とができました。

より、人間と環境について楽しく考えるこ 生の身近な例えやユーモアを交えたお話に

を感じとることができるが、私たち人間に

した。1時間半の公開講座は盛会のうちに

無事終了しました。



20人が巣立ち イハウスで

りも織られ方もさまざまな古裂を大小切り また、参加者は「絹彩画」の製作を体験。彩

分け、その一片一片をベースの板に埋め込ん

独自性を獲得するまでの経緯を伺いました。 では、前野氏の多彩な活躍と、表現者として

も、布使いや力加減によってそれぞれに味の でいく大変細かな作業です。元図が同じで

ある作品が完成しました。

会館(アイハウス)で行われ、島田副学長よ 留学生別科修了式が5月15日、国際交流



れる暖簾や風鈴。切り取られた風景の中に、

い漆喰壁や鮮やかな土壁、風に心地よく揺 れ質感を増した建物の木壁や瓦、白が眩し る歴史的な町並みです。長年雨風にさらさ

前野氏の描く対象は、全国各地に点在す

前野氏が訪ね歩いた町の空気感や時間を感

じることができます。

7月2日に開催されたギャラリー・トーク

り20名の修了生に修了証書が授与されまし

デロ サム アンソニー)さんが修了生を代 タッフへの謝辞を流暢な日本語でスピーチ 話してくれました。来日して寮に到着した GHIRARDELLO Sam Anthony(ギラー 回留学生活を支えてくれた先生方、友人、ス 語が全く理解できなかったそうですが、今 ときは、出迎えてくれた管理人さんの日本 表し、留学期間のさまざまなエピソードを してくれました。 キャンベラ大学からの交換留学生である

い様子でした。 念撮影をしたり、歓談したり名残が尽きな 「生は、留学生別科の先生方や在学生と記 修了式後は修了パーティーが行われ、修





